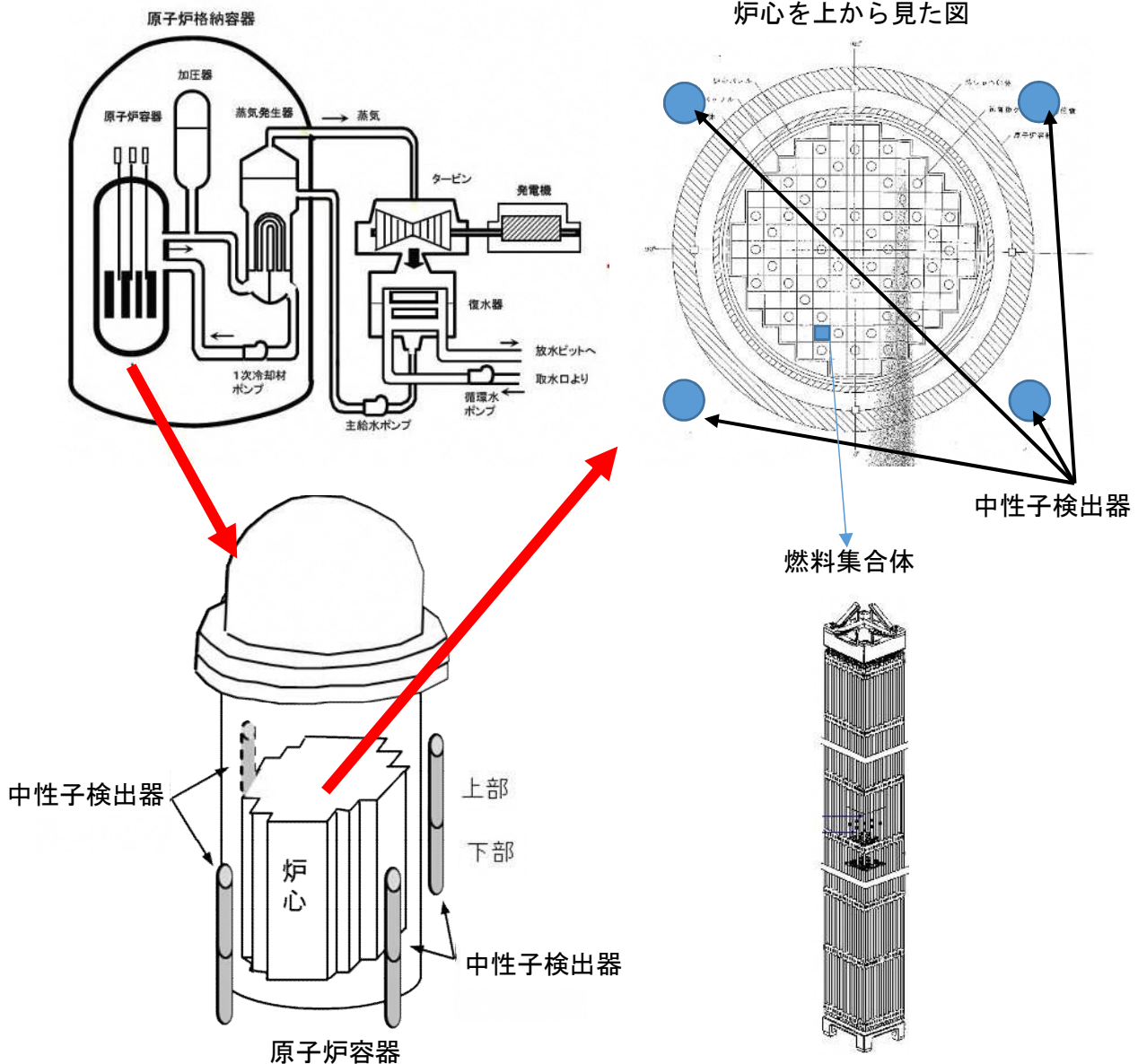


高浜発電所4号機の原子炉自動停止について

事象概要

○高浜発電所4号機は、定格熱出力一定運転中、1月30日15時21分、「PR中性子束急減トリップ※」の警報が発信し原子炉が自動停止した。

※運転中の中性子を測定する検出器が4つ設置されている。中性子検出に異常があった場合、原子炉をトリップさせ警報が発信する。



プラント停止前の状況

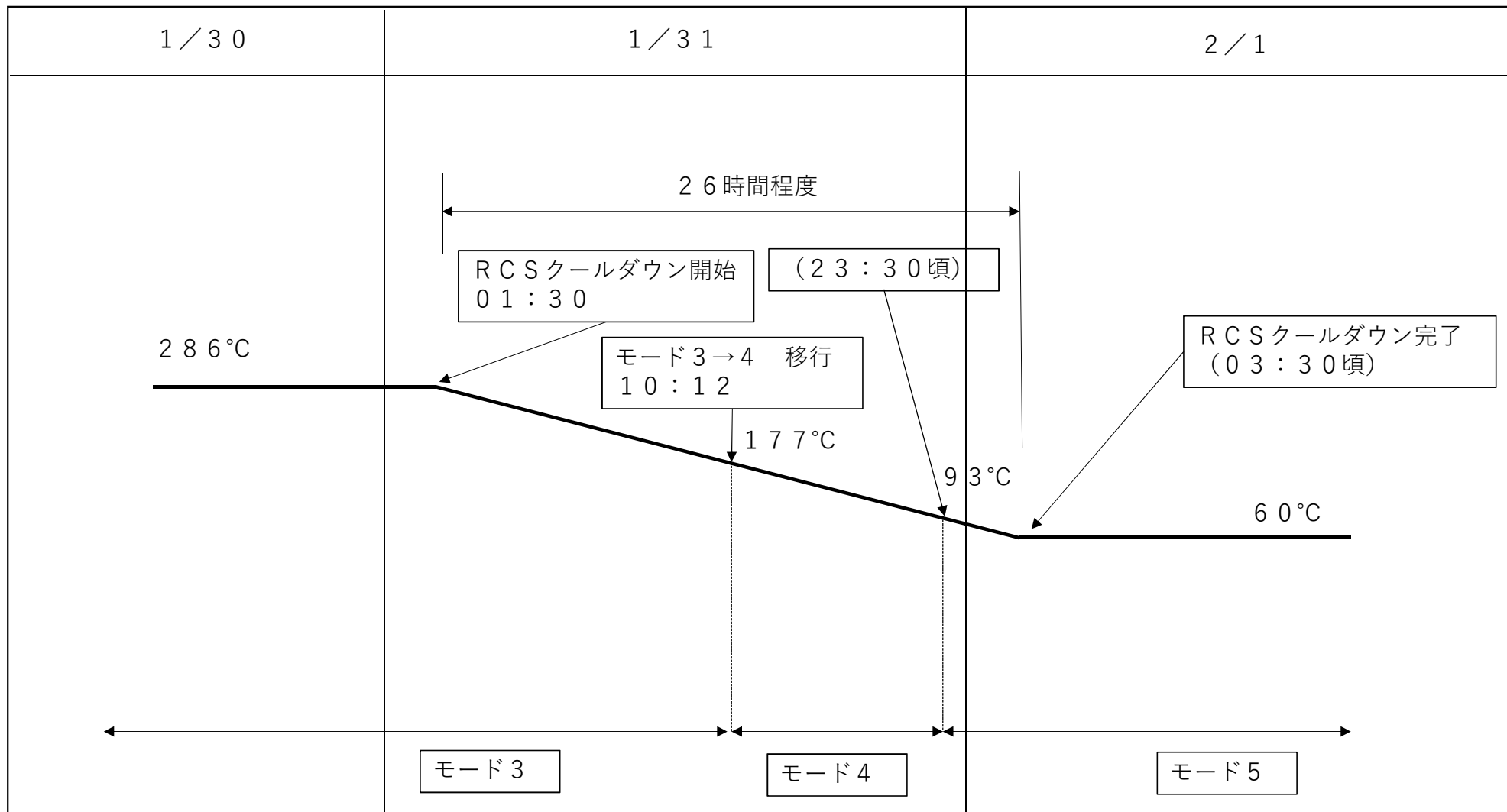
○1月30日00時12分「CRDM重故障※」の警報が発信し、制御棒を電磁力で保持している2カ所のラッチ(爪)のうち1カ所のラッチ(爪)の電流値が通常よりも低いことが認められたため、駆動装置制御盤内の詳細点検を行っていた。

○なお、制御棒駆動装置の故障を示す警報は、1月25日7時24分と1月29日16時46分にも発信していたが、電流値等に異常は認められず、警報はリセットされていた。

※CRDM(制御棒駆動装置)の故障を示す警報

制御棒を電磁力で保持している2カ所のうち、1カ所以上で電流の異常を検知するなど、駆動装置の不調を検知した場合に発信する警報

クールダウン計画



() は予定時刻

原因調査に関する点検項目

